

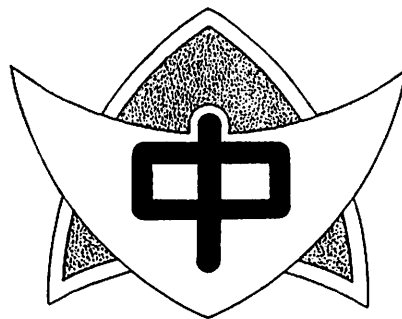
## 城北中学校の校章について

昭和34年10月7日制定  
全校生徒、職員、保護者より公募

### ◆校章の意味する内容は・・・

「大地にしっかりと足を踏まえ、限りなく大空に伸びんとする若人の姿を表しており、これからの城北中学校を象徴したもの」(学校沿革史より)

秀峰妙高山を背景に、大空に大きく両手をかけた生徒をデザイン化したものである。



原案制作者 品川 博 氏 (旧大町中学校第9回卒業生)

創立30周年を記念して発行されたPTA広報「城北」より (平成元年7月15日発行)

### 私の青春校章物語



上越市幸町

品川 博

昭和34年秋、私は19才の子備校生でした。単純で、今一つハリのない生活、東京という大都会の中で自己表現できないもどかしさ、それらが絡みあつて、些か閉口していた時、

故郷の弟から城北中学校の校章デザイン募集の手紙が舞いこんだのです。



初め気分転換くらいに思つて資料を集めたのですが、根が凝り性な私のこと、電車に乗つていても、街を歩いていても、つい校章に目がゆき「校章」というトレーニングペーパーを透かして世の中を見ているといつたほど没頭してしまいました。

ちなみに校章というと、その土地にゆかりの花、雪、木、稲、山などがベースになっていますが、私は広い宇宙にのびのびと育ち、しかも足はしっかりと大地を踏みしめている若者の姿をイメージしました。採用の吉報は叫びたいほどの感激でした。東京の雑踏の中にいても、いやそれだからこそよけい誇らしく思えたのかもしれない。

あれから30年、私の青春は、城北中学校の生徒諸君の襟に、あるいは胸元に、今も熱く鮮明に輝いているのです。